



1月号
(第374号)

50th

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

グローバル社会にむけて

教頭 秋山 千代子



明けましておめでとうございます。穏やかな年末年始をお過ごしでしたでしょうか。新元号になって2年目を迎えました。昨年はラグビーのワールドカップが日本で開催され、大いに賑わいました。参加した国の選手はもとより、応援に來られた海外の人々を見かけたのは記憶に新しいことと思います。そして、今年はオリンピックが開催されますのでさらに多くの海外の方が來られると予想できます。昨年の夏、広島県の原爆資料館がリニューアルされて話題になったので、私も何年かぶりに訪れました。そこで目にしたのは、たくさんの方々の海外の方々でした。一人、あるいはカップルで、あるいはまた家族で來られ、熱心に見学されていました。中には丁寧な合掌されている方もいて、ぜひその方とお話したいという衝動に駆られました。中々自分の英語力のなさに気がつき、情けないと思いました。本校の海外研修の経験から、単語を並べただけの粗末な会話はなんとかこなせることができると思いますが、このときは本当に心の底から悔しく思いました。

生徒の皆さんは本校で学んでいます。実には多くの力をつける機会があります。海外研修、短期長期の留学制度、ALTの先生がたくさん教えてくださる授業などいろいろな積極的に取り組んでいます。今年も例年よりも海外の方が多く來られることになるでしょうが、その時観光地に行かれる方も増えるのではないのでしょうか。私のように悔しい思いをすることがないよう、しっかりと英語を学んでほしいものです。また、日本の素晴らしい文化を探索しに來る、来たいと思っている海外の方がどんなにおられるのか。私にも知らないことがたくさんあります。たとえば、熊本の方には「南関そうめん」、静岡の焼物の「練り込み」。皆さんは知っていますか？これらのことを海外の方に教えていただきました。私はこんな年になるまで知らなかったです。いかに日本のことを知っているかということですね。あらためて「日本」のことを学ぼうと思えました。生徒の皆さんにとって語学力も大切ですが、もともと日本の歴史や文化を知ってほしいと思います。「日本」を知ってこそグローバルに羽ばたけるのではないのでしょうか。

SSH成果発表会

12月22日、本校SSH成果発表会が行われました。中央キャンパスの公江記念講堂で口頭発表、卒業生講演、卒業生とのパネルディスカッションが、また、文学2号館でポスターセッションがそれぞれ行われました。ポスターセッションは、中学1年生から高校3年生までの全員が参加しました。

卒業生2人のリレー講演に続いて行われた、卒業生と在校生とのパネルディスカッションでは、日頃の疑問や悩みなどをキーワードに楽しく話し合うことができました。

3期目のSSH指定1年目である今年の合言葉は文理融合ということで、SS、CSコースだけでなく

く、高校1年CGコースからも3グループ8名の生徒たちがポスターセッション発表を行いました。MSタイムでの探究活動を発展させ、「知」を深化・展開するきっかけとなりました。

最後に、本校運営指導委員である神戸大学学長の武田廣先生からご自身の体験談も交えて「実験でも社会でも失敗を恐れず経験すること、そして遊び心が大切。それらがやがて進歩していきます」と励ましのお言葉をいただきました。



マーチングバンド部 全国大会出場 銀賞受賞

大藤 菜緒(高3)

12月15日、第47回マーチングバンド全国大会が、さいたまスーパーアリーナで行われました。私たちにとって全国大会出場は4年ぶりで、過去13回出場した中で初めて小編成(55名以下の部門)での出場でした。関西大会後は、高校3年生と高校2年生以下との期末考査の日程の違いから、全員揃って一緒に練習する時間が少なく、また全国大会遠征の前日まで期末考査が実施されたため、勉強との両立とコンディショニング作りが一つの課題でした。

本番当日は、出演順が部門の2番目で朝5時前に起床し、5時半からウォーミングアップ並びに音出しを開始し、本番で最高の状態に持っていくことに全力を尽くしました。会場に到着し周囲を見渡すと強豪校が勢ぞろいし、その雰囲気にもまれそうになりました。しかし、全国大会の本番の舞台を楽しむことを一番に思い、全員で心をひとつにして本番に臨みました。フロアに入場すると、ここが遠い埼玉だということを忘れるくらいにたくさんの方々の声援が聴こえ、とても大きな力になりました。本番は多少の失敗はありましたが、全員が今持っている力を全て出し切ることで、大きな達成感に満ち溢れてフロアをあとにしました。結果は銀賞を受賞し、目標である金賞を取ることはできませんでしたが、この結果に私たちは誇りを持っています。



あまよう特別支援学校との交流会

12月18日、尼崎市立あまよう特別支援学校との交流会にボランティア部とオーケストラ部が参加しました。はじめにボランティア部員とあまよう特別支援学校の生徒と一緒に、パリンピックの正式種目にもなっている『ボッチャ』を体験し、大いに盛り上がりました。その後、全員でオーケストラ部の演奏を聴きました。SEKAI NO OWARIの『R.D.G』やAKB48の『恋するフォーチュンクッキー』、『ベストヒット歌謡祭2018』などをみんなでリズムのりながら楽しんで聴き入っていました。終わりの会では、あまよう特別支援学校から、心のこもったかわいいプレゼンと美しい花束をいただきました。また、ボランティア部からあまよう特別支援学校へ手作りのクリスマスリースとティッシュケースをプレゼントしました。とても楽しい時間を過ごさせていただきました。



ボランティア部 吉川 枝里さん(高2)
私は、この交流会に参加するのは5回目です。一年に一度会える大切な交流会で、楽しみにしていま

す。障がいのあるなしに関わらず、楽しむことができる『ボッチャ』を通じて、絆が深まり、交流が活発になりました。他にもカードゲームをしたり、オーケストラ部の演奏と一緒に聴くなかで、いろいろな話ができ、心温まる時間となりました。

トビタテ留学inカンボジア

小西 優羽奈(高3)

2週間カンボジアの村でホームステイしながら小学校に通ってみて、日本とはまた違う幸せの形を見つけた。『発展途上国の村で一生懸命勉強している子どもたちにも、いろんな文化に触れる機会があればいいのに。幼い頃から続けている書道を、私が子どもたちに伝えられないだろうか。そんな想いで留学を決めました。現地の小学校では毎日先生として日本語と英語の授業を行うボランティアをしました。そしてその傍ら、自作の指導資料を使って書道を教えたり、巨大筆を子どもたちと使ってみたりしました。夢中で書いて笑顔になってくれる姿に、これまで書道をやってきて、そして遠くカンボジアまで來て本当に良かったと思いました。また実際に生活して、日本が便利で衛生的で恵まれていることを実感しましたが、それだけが幸せとも限らないのではないかなとも思いました。村には水道もないし電気も十分でないけれど、自然の中でゆったり流れる時間やその中で暮らす人々の穏やかさにとっても魅力を感じました。村は私の大好きな場所になりました。いつになるかわかりませんが、必ず再訪したいと思っています。



常任委員会からのお知らせ

○募金活動の報告

12月に公江記念講堂で行われた、オーケストラ部の定期演奏会とSSH成果発表会で募金活動を行いました。この活動にご理解いただき、ご協力いただいた皆様のご厚意に深く感謝しております。

ここにお寄せいただいたご厚意はベシヤワール会と東日本大震災、熊本地震の被災地へ寄付させていただきます。皆様の温かいご協力ありがとうございます。

高校入試案内

○高校入試

・出願期間

全ての入試方式ともWEBで入力したのち、出願

(窓口) 1月22日(水)～2月3日(月)

※土日を除く、午前9時～午後4時受付

(郵送) 1月22日(水)～2月3日(月)

※期間内必着

・入学考査日

【SA・3S・AA入試】2月10日(月) 8時30分

※詳細は、ホームページをご覧ください。

